

第8回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：令和元年9月30日（月）午後1時30分～
場所：稲敷市役所本庁舎 北 321会議室

発言者	発言内容
-----	------

1. 開会

事務局	<p>それでは第8回外部評価委員会を始めたいと思います。皆様のお手元に9月1日付で市長からの委嘱状をお渡しさせていただいております。期間は年度末までとなっておりますのでよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>稲敷市外部評価委員会設置要綱第5条に基づき、委員長及び副委員長を選任していただきたいと思いますが、委員長は継続で横須賀委員に願いますということで、皆さんよろしいでしょうか。</p>
各委員	(異議なし)
事務局	それでは横須賀委員長からご挨拶をよろしくお願いします。

2. 委員長あいさつ

委員長	<p>2つお話しします。</p> <p>先日の台風での千葉県での自治体の対応を見ると、来ることが分かっているのに準備不足だと思いました。3日経っても被害状況が把握できていないなど行政としてありえないことが起きています。もちろん詳細はつかめないこともあります。泥をかき分けてでも確認にいかなくてはなりません。3.11の後、県北や沿岸地域は災害対応がよくなったはずなのですが、8年経つと当時指令を出していた人がいなくなってしまったということもあるのかもしれません。千葉県は地震慣れもしていますが、茨城県よりも緩いのではないかと思います。</p> <p>もう1つはラグビーを見ていて思ったことです。オールブラックだろうがジャパンだろうが、それと同様に、東京だろうが稲敷だろうが、どうやって勝たなければならないのかというのを緻密に積み上げれば、勝てるということです。ラグビーは実力差がはっきりしているので、勝てない相手には本当に勝つことができません。スクラムの組み方をどうするか、足の組み方をどうするか、そういった細かいことの積み重ねで組織化していく。そうすることによって日本は勝ちました。そういう意味で、稲敷市も総合計画が出来てそれに基づいて予算や施策を作る。全体のレベルをどうやって上げていくか。まさしくスクラムの組み方と同じです。科学の力、日本の力を合わせたら勝つことができました。職員と総合計画、企業など、いろいろな力をうまく組み合わせれば、稲敷市もいけるなと思いました。</p>
-----	--

	。そういう意味では今稲敷市は重要なタイミングを迎えています。そのようなことを思いました。
--	--

3. 議事

(1) 令和元年度外部評価報告書の取りまとめについて

事務局	ありがとうございました。それでは議事に入ります。進行は委員長にお願いしたいと思います。
委員長	既に外部評価の講評は揃っているのですか。
事務局	揃っております。
委員長	その様な部分も含めて事務局からお願いいたします。
事務局	<p>皆さんにお配りした資料が今年度の報告書の案となります。資料2は昨年度の報告書になります。資料3が稲敷市外部評価委員会の設置要項となります。</p> <p>資料1の目次を見ていただきますと、昨年度と構成はほとんど変わっておりません。変わった点を皆さんに説明させていただきます。</p> <p>1ページから2ページは、1番は稲敷市の行政評価、2番は外部評価の目的、3番は外部評価委員の構成について書かれています。こちらは時点修正のみで概ね変更しておりません。</p> <p>3ページは、4番に対象事業の選定の流れが書かれています。本年度は全399事業から対象事業として106の事業がありました。その中から、外部評価委員の皆様の選定により28事業の外部評価を行いました。</p> <p>4ページは、5番に外部評価の日程として第1回から第9回までのスケジュールが書かれています。第9回の副市長への報告は市長への報告に修正してください。6番には外部評価の流れが書かれています。</p> <p>5ページから6ページの構成は昨年から概ね変わっておりません。平成29年度の外部評価で継続して報告を求める事業が8事業ありました。それに、昨年度の平成30年度における外部評価で一部見直しとなった22事業を加えた30事業を第1回の外部評価委員会で皆様にご報告させていただきました。その事業名称が6ページに記載されております。</p> <p>7ページから8ページは総合計画の基本目標の体系が書かれています。</p> <p>9ページは昨年度に追加の依頼があった外部評価の視点の5点を記載させていただきます。</p> <p>10ページは、外部評価に用いたシートや取りまとめた結果が書かれています。</p> <p>11ページからは各外部評価を受けた事業に対して事務局で担当課に依頼をかけまして、評価の結果と委員からの意見等を反映した対応方針を記載していただいた内容を示しています。こちらについて事務局から説明させていただきますと思います。</p>

事務局	<p>《「子育て」「学び」についての説明》</p> <p>No.01 家庭教育事業（生涯学習課）</p> <p>No.02 稲敷市学力診断テスト事業（指導室）</p> <p>No.03 スクールカウンセラー配置事業（指導室）</p> <p>No.04 ふるさと学習支援事業（指導室）</p> <p>No.05 文化財保存のための助成事業（歴史民俗資料館）</p> <p>No.06 稲敷歴史文化学習支援事業（歴史民俗資料館）</p>
委員長	<p>ここまででどうでしょうか。</p> <p>歴史文化学習支援事業ですが、「必要な人員と予算の獲得が出来るよう、関係各課にご理解と協力を働き掛けてまいります。」というのは何もやらないということではないでしょうか。新たな人材と予算がつかなければやらないというように読めてしまいます。気持ちは分かりますが、踏み込んでいってもいいと思います。確かに今の人員と予算で全面的に展開するのは難しいと思いますが、やる気と表現を含めてもう一回コメントをいただきたい。</p> <p>スクールカウンセラー配置事業について。いじめなどに対しての学校の対応について色々な所で問題になっています。そういう時にスクールカウンセラーが有効かどうか。いじめた子もいじめられた子も平等に扱うという風潮がありますが、これだといじめが継続してしまいます。そういう事例が出てきています。それを解決するにあたり、いじめられている人には養護教諭がケアをし、いじめた側には教頭が指導するなど、両者への対応を変えるというのが流れとしてあります。スクールカウンセラーにお任せすればいいという話ではありません。その前の時点でどのように対処するのかというのをもう少し考えた方がいいと思います。</p>
委員	<p>実際にいじめの相談を受けています。その時にスクールカウンセラーの存在感がとても薄い感じがします。配置事業はいいのですが、スクールカウンセラーを配置することの効果は検証されているのでしょうか。</p>
委員	<p>スクールカウンセラーが活用されていないということなのですか。そこに行きついていないということですね。</p>
委員	<p>そうです。スクールカウンセラーに相談したらどうですかと言うのですが、お母さん達からはそういう声が出てきません。</p>
委員	<p>そういう方法があることすら頭に浮かばないという感じですか。</p>
委員	<p>というよりも、存在価値が薄いのだと思います。</p>
委員	<p>その通りだと思います。委員長がおっしゃったように、カウンセリングに行く前の部分で実際に困っています。スクールカウンセラーに相談することを保護者が認知していないというのも1つの理由かもしれませんが、相談しても改善されるかどうか難しく思えてしまいます。それより</p>

	も、学校における子どもの居場所をきちんと確保してくれて、もっと自分のことをきちんと見てくれる先生が必要です。友達とこれから仲良くやっていける道筋をつけてくれ、友達にも指導をしてくれる、学校でそういった体制作りをしないとイケません。
委員長	担任の力量によってしまう、任されてしまっているところがおかしいですよね。
委員	<p>スクールカウンセリングを受けるまでの体制を学校で作らないといけません。男子の非行や女子の仲間外れの問題。クラス替えをするなど、ケースごとに検討してもらって体制を作ってもらわないと、子どもが前を向いていけません。スクールカウンセリングでは、メンタル面でのプラスアルファの部分で指導してもらえればよいと思います。</p> <p>評価理由の欄にも、「3年間で解決するのは難しい」と記載されていますが、確かに難しいです。将来的に引きこもらないために、社会、もしくは友人とコミュニケーションをとれるように導いてくれて、次のステップに進めるような指導をしてもらいたい。カウンセラーの方は、本当に存在感がありません。</p>
委員	やはり、常駐していない人にどれだけのことができるのか、という問題はありますよね。既成事実を作っているだけになってしまっています。
委員	少し前は保健室の先生がその役割を担っていましたよね。
委員	そうですね、学校にいけば毎日いますからね。
委員長	スクールカウンセラーに至る以前のこと、またはスクールカウンセラーを活用できる手法を考えてほしいです。学校そのものが組織的な対応をしていないのではないかということ、要するにスクールカウンセラーに任せるのではなくて内部でどのように対応するのかということを考えるのが先ではないか、という意見があったということをつけ加えてください。
委員	いじめの情報が入った時に、担任とスクールカウンセラーと保護者でケースカンファレンスのようなことをやっているのでしょうか。
委員長	非行の問題については全国的には下火で、今はいじめや引きこもりが問題になっています。青少年問題の質が変わってきています。子どもの間ではいじめに近いことが普通に起きていますが、それをどう捉えるかがいじめの問題です。感じ方によって違うので見分けが難しいですね。
事務局	概ね適正は変えずに意見を追加する、対応方針についてもその部分に関して意見をいただくということでもよろしいでしょうか。
委員長	概ね適正でいいですが、スクールカウンセラー配置事業ではなくて、それ以前の問題について委員が気にしていたということを入れていただければと思います。
事務局	《「福祉」「健康」についての説明》

	<p>No.07 障がい者支援サービス事業（社会福祉課）</p> <p>No.08 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（高齢福祉課）</p> <p>No.09 シルバー人材センター助成事業（高齢福祉課）</p> <p>No.10 妊産婦支援事業（不妊治療費助成等）（健康増進課）</p>
委員長	ここまででいかがでしょうか。
委員	シルバー人材センター助成事業について。「適正に運営されているか確認していきます。」というのはいまさらどういうことでしょうか。今まで何をやってきたのか。外部団体の確認チェック方法について考えてほしいです。言い回しもそうですし、昨日今日始まった事業ではないわけですから。
委員	稲敷市は事後チェックが甘い、していないところが多いと思います。
委員長	「確認していきます。」ということは、今までやってきていないということですよ。
委員	障がい者支援サービス事業ですが、「関連部署」とはどこでしょうか。
事務局	この2つについては、こちらで担当課と話しまして、対応方針を修正させていただきたいと思います。
委員長	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業について。「市老人クラブと検討していきます。」とありますが、対象者となる高齢者の1割しかいない老人クラブと検討すると言っています。市としてはどうするのか、市の考え方を整理するのが先だと思います。老人会の会員の数でお金を配るのではなく、そこにいる老人の数だけ補助金がいくようにすれば全員参加できるようになる。老人クラブには行きたくないが、「これならやりたい」という人がピンポイントに参加できるようにする、そういった仕組みをどうやって作るのかということを考えてほしいというのがこちらの意見です。
事務局	<p>《「生活安全」「環境保全」について説明》</p> <p>No.11 自主防災組織育成事業（危機管理課）</p> <p>No.12 稲敷市通学路交通安全プログラム実施事業（教育学務課）</p> <p>No.13 地域防犯環境改善事業（危機管理課）</p> <p>No.14 空き家対策事業（危機管理課）</p> <p>No.15 農作物有害鳥獣駆除対策事業（農政課）</p> <p>No.16 耕作放棄地対策事業（農政課）</p> <p>No.17 鳥獣保護事業（環境課）</p> <p>No.18 ごみ減量化対策事業（廃棄物対策室）</p> <p>防犯環境改善事業の際に話の出た青パトの稼働率を調べてあります。そちらを報告いたします。</p>

事務局	危機管理課に調べていただきました数字ですと、江戸崎地区と東地区に関しては月平均 12 日、桜川、新利根地区が月平均およそ 3 日との報告をいただいております。ここにスクールガードリーダー等の利用も多少入るとは思うのですが、桜川、新利根地区に関しては大分少ない数字です。
委員長	月に 3 日しか稼働していないものはいらないですよ。
委員	それも丸 1 日使っているわけではないですよ。
事務局	その隙間にスクールガードリーダーが使うということもあるとは思いますが、少なくとも 2 地区に関してはひっきりなしに使われている状況ではありません。土日を除いて月 20 日あるうち、江戸崎、東地区に関しては、6 割程度は動いていることにはなります。
委員長	合併をして 4 地区あるから 4 台用意しなくてはならないという。
委員	ちなみになぜ桜川と新利根はそんなに少ないのですか。といいますか、地区ごとに差があるのですか。
事務局	確認します。
委員	差がありすぎですよ。月に 3 日という週に 1 回も動いていないということでしょう。
委員	自主防災組織育成事業について。女性の防災組織を取組のところに意見として入れていただきたいと思います。東日本大震災の時に社協のボランティア登録団体が炊き出しなどでとても働いてくれました。ほとんどが女性の団体です。有事や防災の時に女性の組織を忘れないように伝えていただいてもよろしいでしょうか。
委員長	現実に台風などが起きていて課題なども出てきていると思います。風水害の経験などもあります。自主防災組織があればそこに伝えればよいということですよ。
委員	伝えるところがないですよ。防災無線での情報提供はあるがそれ以外のことはできないわけでしょう。組織がありません。区長にお願いしてもいいですが組織化されていません。対応方針が人ごとの様にしか見えません。危機感がないんです。専従職員を作ること必要だと思います。地域に出向いて組織化をサポートしないと何年経ってもできません。
委員長	専従職員を作ると結成率がとてもよくなります。その後のケアを専従職員がするので、連携がよくなる。
委員	稲敷市では、組織するために規約を作りなさいと言いますが、そのサポートを一体誰がするのか。70 歳以上にもなる区長にはとてもできません。そういったところを専従職員が入って行ってサポートしてあげればできるのではないかと思います。2016 年から全然進んでいないというのは、そういったやる気がないのかなと感じてしまいます。

委員	やれと言われても何をやっていいか分かりません。必要かもしれませんが何をやっていいのかわからない、どうしていいかわからない、そう思っているかもしれません。なので、こうやってやるんですよと引っ張っていかないと動かないと思います。
委員	2 地区に今年度作るんですね。
委員	龍ヶ崎市では自主防災組織を全地区に 3、4 年で結成している。防災倉庫も設置して、定期的に防災訓練もやってもらっている。そこまでケアしていかないといけない。作ったからいいというものではありません。市としてやる気があれば、3 年か 4 年で結成させないといけない。やる気持ちはあるのですが、甘い。災害時、市の職員は対策本部にとられてしまうから公助はできません。共助でやるしかない。自主防災組織があれば地域に安心感が得られると思います。
委員	台風 15 号での停電の話もありましたが、電力会社だけではなく、自治体でも自分達で危険箇所などを調査しておくことは大事だと思いました。 ごみ減量対策事業について。補助事業の補助金というのは、生ごみ処理機を設置するための補助金ですよね。委員からの意見では、時代にあわない事業になっているので違う手法の検討が必要だと言っているのですが、担当課は「補助金制度の広報を積極的に行います。」との対応方針になっています。おかしくありませんか。
委員長	我々の意見では、違う手法を検討する時期にきているのではないかと暗に言っているのですが。このレベルになったら事業の見直しを検討すべきではないでしょうか。
委員	鳥獣保護事業のオオヒシクイについて。対応方針では、「国・県・関連する団体と協議会を設立し、対策を検討していくことを目指します。」とありますが、そういうものを活用しながら市の PR を含めてみたらどうかという話があったと思います。これだと、オオヒシクイは国の天然記念物だから自分達では勝手にできないという話にしか聞こえません。オオヒシクイを全面に出して稲敷市を PR したらどうだろうという意見などもありました。
委員長	稲敷市の子ども達もオオヒシクイについて分かっていないでしょう。もう少し広く認識されると田んぼなどの環境を保全しようという気持ちも起きてくると思います。
事務局	《「都市基盤」「産業・観光」「市民参画」についての説明》 No.19 出会いサポート事業（人口減少対策室） No.20 地域公共交通対策事業（政策企画課） No.21 水道施設更新事業（水道課） No.22 下水道の維持管理事業（下水道課）

	<p>No.23 産業拠点地区開発推進事業（企業誘致推進室）</p> <p>No.24 市民のための創業支援事業（企業誘致推進室）</p> <p>No.25 求職情報発信（商工観光課）</p> <p>No.26 まちづくりの担い手育成事業（市民協働課）</p> <p>No.27 男女共同参画推進事業（市民協働課）</p> <p>No.28 公衆無線 LAN 整備事業（秘書広聴課）</p>
委員長	<p>まちづくりの担い手育成事業について。対応方針でこちらからの意見を無視しないように1行だけつけ加えているのですが、こちらでは聞いていないことを「きちんやりやっています」という回答になっています。こちらの意見としては、地域とやっていくことがやや疲弊してきたので、それだけではなく、行政が同じ意思を持つ人達と手を繋いでいくという広い意味で「地域」といっています。担当課が区長制度も持っているのですがどうしてもこの方向になってしまうのかもしれませんが。</p> <p>同様に、男女共同参画推進事業は概ね適正ですが、ここで私達は、新たなプログラムが必要ということや方向性が見えていないということを行っています。要するに登用率はどうかということなのです。それに対して、今まで通りやっていくという回答になっています。これでは回答になりません。今まで通りやらなくてはならないのは分かりますが、私達の意見は知らないよという答えに感じます。</p>
事務局	対応を依頼します。
委員長	外部評価も3回目になり、慣れてきてしまったのかという印象を受けました。
委員	出会いサポート事業について。「商工会と協議しながら事業を実施していきます。」とありますが、実際に商工会に入っている企業は割と限られていると思います。そうでない若い人がいるわけです。そこを踏まえて頂ければと思います。
委員長	他にありますか。よろしいでしょうか。
事務局	《報告書の構成についての説明》

（2）今後のスケジュールについて

事務局	来週、10月9日午後1時半にお集まりいただきたいと思います。2時に応接室に移動していただきまして、市長に皆さんから講評をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。
委員長	他にはありませんか。では、ご苦労様でした。